



今夏登場予定の新型ジムニー。ラダーフレーム採用で優れた悪路走破性は当然、継承される



こちらは依然として販売量調の現行ジムニー。2WD⇄4WDの切り替えがダイヤル式になった時は驚いた

根強い人気のワケを。

☞ま、理由はたくさんあるんですが、基本的にジムニーのような4WDを必要としている人が、タイミングとか関係なしに常に存在しているということですね。

☞でも、夏にフルモデルチェンジする予定ですよ？

☞ジムニーが登場して48年ですが、基本的な機能は変わってないんですよ。ジムニーを必要とする人が最も重視する機能が変わらないから、フルモデルチェンジが控えていようがなんだろうが、常に一定数以上は売れるんです。

☞「今度出る新型より現行がいいや」という人がいる、

というわけじゃないんですね。

☞それも多少はあると思いますがね。「新型出ると知ってるけど、現行くれ」という人も実際にいますから。それは例えは、自転車を買うにも外観の好き嫌いはあるわけで、好みの問題ですよ。

☞なるほど。話は変わりますが、最近妙に若い女性が見えるんですが？

☞ああ、そうですね。なんでも四角いボディに丸目のヘッドライトがかわいいっていうんですよ。一番人気は現行のさらに1世代前のJA11型で、もつとベキベキ。

☞JA11型って、そんなに人気なんですか？

☞25年落ちのJA11が100



ジムニー・スーパー・スージー  
毎奇数月9日発売のジムニー&スズキ製4WDの専門誌。編集/SSC出版 発売/芸文社 4月号予定価...1490円

万円とかしますからね。そこからいろいろと整備すると、さらに100万円くらいかかるんですけど、それでも買いたいって思うようですね。

☞そういう人には今度の新型魅力的なんじゃないですか？

☞実は私も、ちよつとした社会現象になるかもしれないと思ってるんですよ。

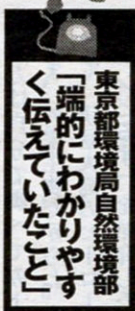
★ ★ ★

## キミは知っているか？ キョンをとるから「キョン」を

クルマであつて、モデルチェンジを控えて急激にとか、そういうことではないようです。担当I、不勉強だったね☆  
ゴホン。えー...、照れ隠しであるかのように突っ走る2発目は、「キミは知っているか？ キョンをとるから「キョン」とるぞ」だ。今、伊豆大島の生態系は危機に瀕している。その危機に立ち向かう英雄こそが「キョン」とるぞ！  
なのだ！ 燃えてきたぜ！

50代以上の読者には「八丈島のきょん！」でお馴染みのキョン。成長しても中型犬程度という小型のシカの仲間だが、そのキョンが伊豆大島で繁殖、島の特産物であるアシタバやツバキ、絶滅危惧種のキンランも食べるなど、生態系に影響を及ぼしている。

キョンはもともと中国南東部などを原産とする外来生物。東京都はそんなキョンの捕獲を推進すべく、捕獲チームを結成したわけだが、昨年



東京都環境局自然環境部「端的にわかりやすく伝えていたこと」

10月、そのチーム名称とロゴマークが決定した。つーことで、チーム名称&ロゴマークの決定理由などを東京都環境局に聞いてみる。昨年10月の出来事をいま取材したのは、担当が「いいネタだ」と思いながらも、その提出を失念していたからだ。正直、スマン。

☞もしもし。まず聞きたいんですが、伊豆大島のキョンはどこからきたんですかね？

☞元は都立の大島公園で飼育されていたものが、1970年の台風の際に逃げ出してしまったものですね。

☞最近、千葉県でもキョンが問題になってますけど？

☞あちらもやはり県内で飼育していたものが逃げ出したという事ですね。大島から泳いで渡ったとか、そういうことではないです。

☞台風で逃げ出したキョンが増えたということは、大島の環境がキョンに合ってたという事でしょうか。

■東京都伊豆大島年度別キョン捕獲数

